

2024 年度歴史地震研究会 第 2 回幹事会議事録

場所: オンライン会議

日時: 2024 年 12 月 12 日 (木) 17:00~18:30

出席者: 佐竹(会長), 蝦名(副会長), 松浦(旧行事), 塩川(新行事), 石辺(財政), 室谷(広報), 諸井(監査), 植竹(監査), 大邑(総務)

欠 席: 加納(編集出版)

1. 入退会者の承認及び 2023 年度 2024 年度会費受取状況(2024 年 8 月 14 日~2024 年 12 月 10 日)(財政)
 - ✓ 新規入会者, 2024 年度末退会者, 2024 年度末休会者, 休会・除名からの復活, 2023 年度会員特典停止からの復活, いずれも 0 名 →承認 (現会員総数 244 名)
 - ✓ 登録内容変更 3 名
 - ✓ 2023 年度会費受取状況 254 名 (前回から変化なし)
 - ✓ 2024 年度会費 194 名 (未納 50 名), 2025 年度会費 4 名
 - ✓ 退会届を提出したものの会費未納のため会員特典停止中の会員がおり、会費納入後に退会を促しているが、未納が続く場合、来年度に除名となる可能性がある
 - ✓ 未納の 50 名のうち約 30~40 名は納入の見込みがある
 - ✓ 功績賞受賞者に対する会費免除制度について議論
 - ✓ 功績賞受賞者には翌年度以降の会費を免除する案が提示された
 - ✓ 会費免除は功績に関する内規の一部として追加する案が提示 →文案作成を検討
 - ✓ 適用時期は、受賞の翌年度からとすることが望ましいとされた
 - ✓ 本制度導入による会費収入への影響について懸念も示された
 - ✓ 決定事項: 次回幹事会またはメール審議にて功績賞内規の文案を検討し最終的な決定を行う
2. 役員および委員名簿の確認(総務)
 - ✓ 役員と委員メンバーの確認
 - ✓ 行事委員は委員以外から協力を得る可能性があり場合によっては委員に追加する
 - ✓ 編集委員のメンバーについて確認
3. 木曽御嶽大会まとめ(旧行事)
 - ✓ 収支は 13,853 円の黒字となった
 - ✓ 地元観光協会が集金業務を担ったことで行事委員会の負担が大幅に軽減された
 - ✓ 参加費の事前決済が非常に有効であった (お釣りの準備が不要など)
 - ✓ 御嶽火山マイスターネットワークの協力スムーズな運営に貢献した
 - ✓ 行事委員会の備品は段ボールからプラスチックコンテナに変更され小ぶりのものになった
 - ✓ 備品は豊岡大会へ送付される予定
 - ✓ 名札入れ 100 個が購入済みで既存のものと合わせて 150 名まで対応可能であり新たな購入は不要
4. 「歴史地震」40 号の投稿状況など(編集出版)
 - ✓ 論説 9 件 (前号からの持ち越し 1 件含む)、資料 6 件、報告 2 件 (依頼原稿 2 件)、訂正 0 件、要旨 24 件で、総ページ数は 212 ページ (原稿 200 ページ、研究会だより 12 ページ) を予定
 - ✓ 委員一人あたりの担当件数は 3~4 件で例年並みである
 - ✓ 査読者用の会員名簿は今週水曜日に送付済みである
 - ✓ 第 39 号の PDF ファイルと目次データは年明けに広報担当へ送付し Web 公開する予定
 - ✓ 前回幹事会で議論された「会員以外からの投稿も適宜受け付ける」という条項 (第 3 条) の削除についてホームページでは一部修正済みであるものの最終的な確定には至っていない

5. 2025 年豊岡大会について（新行事）

- ✓ 第 42 回歴史地震研究会は豊岡大会として 2025 年 9 月 26 日（金）～9 月 28 日（日）に開催（後に会場の都合で日程変更）
- ✓ 会場は兵庫県豊岡市の芸術文化観光専門職大学
- ✓ 研究発表は 1 階の教室（A101～103、各 50 名収容、仕切りを外せば 150 名規模に対応）で行われ公開講座もそこで実施予定
- ✓ ポスター発表は 3 階の中小教室（B の 1301～303、各 20～30 名規模）を予定
- ✓ 金曜日に研究発表と懇親会、土曜日に研究発表、公開講座（北但大震災 100 周年関連）、総会、日曜日に巡検を行う
- ✓ 公開講座は発表者数によっては実施が難しくなる可能性があり研究発表数の制限も検討課題
- ✓ 懇親会会場はアールベルアンジェ豊岡（結婚式場）を予定。150 名まで対応可能で、ビュッフェ形式、2 時間 4,500 円から。プロジェクターや音響設備も完備。大学から会場までは徒歩 20 分だが、無料送迎バスを利用する予定
- ✓ 巡検は豊岡駅から震災記念碑、城崎温泉、温泉寺、ロープウェイ、昼食（出石そば）、出石町散策、豊岡駅で解散するルート案などを検討中
- ✓ 貸し切りバスは地元の全但バスに相談予定。バスが入れない狭い道がないか、事前に確認が必要である
- ✓ 豊岡駅 15 時 41 分発の特急列車で大阪・京都方面へ帰宅可能であり東京へも同日 20 時 33 分までに到着できる
- ✓ 懇親会と巡検の正確な参加人数は 7 月下旬を目途に締め切りバスや会場の手配を行う
- ✓ 初日の研究発表は朝から開始される予定である
- ✓ 設営は 1 時間程度を見込んでいるがポスター枚数やパネルの有無によっては調整が必要である

6. 広報活動について（広報）

- ✓ メーリングリストの管理を継続
- ✓ ホームページの更新はトップページ下の項目アイコンを追加し、見やすさを向上させた
- ✓ 大会情報は、木曽御嶽大会の終了と、次回豊岡大会の仮日程・場所を掲載済みである
- ✓ 豊岡大会の日程が確定したため確定日程で更新するよう依頼
- ✓ 『歴史地震』バックナンバーの在庫数を更新
- ✓ webmaster 宛メールへの対応 2 件
- ✓ 木曽御嶽大会の終了後、最終報以外の情報を早々に削除したところ、出張手続きに必要な情報が見られないという連絡が 1 件あった。この経験から、終了告知後も資料はしばらく掲載しておくべきとの見解が示された
- ✓ 大会参加者向けに、集合写真や巡検補足資料を含む開催報告ページを ID・パスワード付きで限定公開する予定

7. その他

- ✓ 2026 年第 43 回歴史地震研究会を、昭和南海地震 80 周年記念として高知で開催する可能性について検討
- ✓ 現地協力者については内諾済み
- ✓ 主な開催候補地として高知城ホール県民文化ホールが挙げられた
- ✓ 高知での大会開催を推進する方向で承認された
- ✓ 日程決定と会場（特に高知城ホール）の確保を早めに依頼

○次回幹事会は 2025 年 4 月頃の予定（オンライン開催）

以上